緑丘トピックス

平成 28 年度
第 3 号
7月22日（金）発行

Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校　TEL/FAX 0142-24-3021

未見の喜び

校長 吉 瀬 献 策

まだ見たことのない表情を目の当たりにする喜びの瞬間には、ときめきを覚えます。その感動の後は、束の間なりとも、よーしやるぞ！という心持ちになります。

このことに関し、最近、職場では二つのことがらがありました。

一つ目は、学校祭です。本校の学校祭はご存じのように、昨今のありがちなそれとは違い合唱コンクールやクラス演劇など文化祭色が濃いのが特徴です。数々の制約の中で生徒諸君が時間を持ち寄り一つのパフォーマンスを創りあげていきます。日々ブラッシュアップされていく歌声は校長室にも伝わり、垣間見る教室での台詞合わせも次第に熱を帯びていくのを感じ取れます。そうした道程を経て臨むステージ。結果に満面の喜びを浮かべる生徒もいれば肩を落とす生徒もいます。頑張ったひとも頑張れなかったひとにも何かを経験した後の心模様を見取ることができます。これまで目にすることのなかった生徒の表情に我々教員は心を動かされます。また、同時に、教育に関してこの瞬間がチャンスです。この機を逃さず生徒の琴線に触れようとする教員の姿勢を見るにつけ胸が熱くなります。

二つ目は、研究指定事業の取組に係る一コマです。本年度から、国立教育政策研究所の教育課程研究指定事業の指定校として研究を進めており、先日、７月１５日に文部科学省から二名の調査官を招いて第１回目の研究協議会を開催し、その中で、本校教諭による研究授業を行いました。アクティブ・ラーニングによる授業では、目を輝かせて臨む生徒の主体的で能動的な学習活動は立派でした。また、予想を超える彼らの授業の様子に授業実践者が感嘆の表情を浮かべるのを認めることができたのは、まさに、管理職冥利に尽きます。これからの生徒諸君のさらなる伸張が期待できます。そこには、関わる教員の変化がきっとあるからです。

さあ、みんなでときめき探ししましょ。

感動の緑高祭

チーム緑高大成功!!

＝ 最後は生徒全員で校歌熱唱 ＝

７月７日（木）～９日（土）の３日間、年間最大の行事である『第34 回緑高祭』が開催され、多くの保護者や地域の方々が来場し、創造性・文化性に富んだ本校伝統の“緑高祭”をご覧いただきました。

生徒たちは約１か月の時間をかけて「合唱」をはじめ、「アトラクション（クラス展示）」や「演劇」の練習を重ねてきました。どうすれば良いものに仕上げられるか――生徒たちは時に困難にぶつかり、悩みながらも仲間とともに課題を乗り越え、大きく成長してくれました。各賞の結果については一喜一憂があったと思いますが、後夜祭のフィナーレでは全校生徒が肩を組んで校歌を熱唱。全校が“チーム緑”として一つになった感動の瞬間となりました。

準備にあたった生徒会執行部をはじめ、良質の学校祭を創り上げてくれたすべての皆さんに感謝します。感動をありがとう！

家族・友情をテーマに 3年生が演劇を熱演!!

本校の学校祭では、３学年の４クラスが「演劇」に取り組みます。学校祭での演劇は西胆振管内の高校では唯一の取り組みで、脚本は高校演劇部が発表するレベルの本格的なものです。演技はもちろん、大道具の製作や照明・音響のプランニングまで、すべて生徒たち自身の手により創り上げられていきます。今年も「家族」や「友情」をテーマに、人間どうしの絆を描いた作品が上演され、演者たちは巧みに笑いを誘いながら、会場をさわやかな感動に包みました。とても完成度の高い演劇に、当日鑑賞されていた学校評議員の方々からも賞賛の声をいただきました。

息の合ったハーモニー 合唱でも熱いドラマが…

メインの「合唱コンクール」では、１～３学年までの全クラスが本選出場に向けて課題曲・自由曲の２曲を披露しました。とくに３年生は最後の合唱ということもあり、最高賞であるグリーンハーモニー賞めざして、気迫のこもった真剣な眼差しでレベルの高い歌声を響かせていました。そして、多くの保護者の方々も見守った一般公開日の「本選」では、進出した上位５クラスが質の高いハーモニーを創り上げ、体育館じゅうが熱気と大きな拍手に包まれました。

アトラクションも大盛況 中庭ではPTAバザーも!!

１・２学年の各クラスは、教室を使って体験的な展示物を創り上げる「アトラクション」に取り組みました。一般公開時には、本校生徒のほか来場者も多数行列に並び、子ども心を呼び起こす「縁日」を模したゲームや「お化け屋敷」などを体験しました。最優秀賞となった２年Ｄ組では、科学の不思議とおもしろさを伝えるさまざまな実験を披露。多くの観客を楽しませていたことが高く評価されました。

このほか、文化系部局が各種展示や発表を行いました。また中庭でも「ＰＴＡバザー」が開かれ、保護者の方々が早朝から準備にあたった焼き鳥・フライドポテト・から揚げ・ジュースが販売されました。ご協力感謝申し上げます。

第34回緑高祭 各部門の審査・表彰結果

《合唱コンクール》最優秀賞：３年Ｃ組　新人賞：１年Ｂ組
最優秀指揮者賞：田中稚菜（３Ａ）、濱田紗希（３Ｄ）
最優秀伴奏者賞：笹有希菜（３Ａ）、中谷結衣（３Ｄ）
金賞：２年Ａ組、２年Ｂ組、３年Ａ組、３年Ｄ組

《演劇（３年のみ）》最優秀賞：３年Ｃ組　審査員特別賞：３年Ｂ組
男優賞：高橋和登、大石悠太、五ノ井柊作
女優賞：萱場日明、山本衣里奈、黒田七海

《アトラクション》最優秀賞：２年Ｄ組　優秀賞：２年Ａ組
優良賞：２年Ｂ組、２年Ｃ組

《パフォーマンス》最優秀賞：３年Ｃ組　優秀賞：２年Ａ組
優良賞：２年Ｃ組、２年Ｄ組

よい撮り緑（どみどり）

Midorigaoka 2016年6月

◆◇◆◇◆◇◆◇ 6月3日(金) 分野別進路説明会

大学や専門学校の先生方をお招きし、講義していただきました。
学問分野・職業別に専門的なノウハウを学びました。

6月9日(木) 熊本地震に係る募金活動 ◆◇◆◇◆

生徒総会で提案された募金活動が実現しました。
多くの生徒の皆さんが呼びかけに応えてくれました。

◆◇ 6月10日(金) 高体連全道・高野連支部壮行会

全道大会（野球は選手権支部大会）を前に出場選手を激励。
陸上部２選手がインターハイへの切符を手にしました。

6月15日(水) 春季避難訓練 ◆◇◆◇◆◇◆◇◆

地震を想定した訓練を実施し、防災意識を高めました。
今回も地震体験車をお借りして学びを深めました。

◆◇◆◇◆◇◆ 6月19日(日) 吹奏楽定期演奏会

カルチャーセンターで吹奏楽局の定期演奏会が開催されました。
歌やダンスに寸劇など大いに沸かせてくれました。

ホームページでも学校生活を紹介しています！

行事をはじめ、日々の生活や配付物（通信等）を日々公開・更新しております⇒ http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp

8月の行事予定表

夏期講習 ⇒ 7月23日(土)～8月3日(水)
実力考査 ⇒ 8月17日(水)～19日(金)
体育大会 ⇒ 8月24日(水)～25日(木)

日	曜	行　事　予　定
1	月	夏期講習(後期)③
2	火	夏期講習(後期)④
3	水	夏期講習(後期)⑤
4	木	電気設備点検(9:00～10:00 停電・トイレ使用不可) 第2回全統マーク模試①(3年) 普通救命講習会(13:30～16:30)
5	金	第2回全統マーク模試②(3年)
6	土	伊達武者まつり ※山車行列参加
7	日	伊達武者まつり　第6回公務員模試(3年)
8	月	
9	火	職員検診(午前は登校禁止)
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	夏季休業明け集会、実力考査① スタディーサポート(1年)
18	木	実力考査②
19	金	実力考査③
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	体育大会①
25	木	体育大会②、職員会議
26	金	進路希望調査、上級学校説明会(～9月2日まで随時)
27	土	第3回道看模試(3年)
28	日	
29	月	
30	火	考査準備期間
31	水	

休業中の「生活心得」をよく読んで！

長期休業中は、心身をリフレッシュさせるとともに、しっかり学習も行いましょう。また小さな気の緩みから事故を起こさないよう注意しましょう！

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承ねがいます。

教育課程研究指定校事業 研究協議会を行いました

本校は昨年度より「主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）の研究協力校」となっているほか、今年度からは、文部科学省の国立教育政策研究所が実施している「教育課程研究事業」の指定校として、生徒の学ぶ意欲や、思考力・表現力等を中心とする学力の向上をめざし、授業や教材開発に取り組んでいるところです。

７月 15 日には、今回の研究指定事業に係る「研究協議会」を実施し、文部科学省から２名の教育課程調査官をお招きしたほか、全道から多くの先生方が参加され、本校の授業を参観していただきました。

公開した「世界史Ａ」「日本史Ａ」の授業では、生徒どうしで討論（ディスカッション）しながら考えをまとめ、発表する学習活動が行われ、生徒たちは意欲的に取り組んでいました。その後の講演や研究協議をふくめ、有意義な研修の機会となりました。